

「とり小屋」を実施



↑保護者と一緒にとり小屋で過ごす子どもたち

1月7日(火)、広野町内、下浅見川地区と上北迫地区の2カ所でお正月の風物詩「とり小屋」が行われました。正月飾りを持参した地域住民らに甘酒やお雑煮を振る舞い、保護者らとともに訪れた子どもたちは、とり小屋の中に入ったり、周辺を走り回ったりしながら楽しそうに過ごしていました。翌日8日(水)には、朝6時にとり小屋に火をつけ、正月飾りと一緒に燃やしました。燃やした火であぶった餅を訪れた方に振る舞い、新年の無病息災を願いました。

農用地での「野焼き」再開



↑農業委員会に出席し、野焼き再開を説明する遠藤町長(中央)

1月17日(金)、町は、農業生産者の要望を受け止め、農林水産省の協力のもと町内21地点での畦畔雑草放射性セシウム調査試験を実施してきました。その結果、原発事故発生後、焼却による放射性物質の飛散を懸念し町民に自粛を求めている農作業の野焼きを再開することとしました。遠藤町長は「農業振興のために町が責任をもって決断した。ルールを守り実施してほしい」と農業委員会及び農業者代表者会議で説明し理解を得ました。ただし、次の条件に基づき実施することになります。①作付けを予定している田畑または、集落の農業組織等が活動を計画する農用地等に限ること。②周辺住民への周知、町及び富岡消防署への届け出。③実施時期は2月から4月末日。

広野町消防団・婦人消防隊出初式・パレードを実施



↑出初め式での通常点検の様子

1月13日(月)、広野町消防団・婦人消防隊・株式会社JERA広野火力発電所自衛消防隊は広野町総合グラウンドで衆議院議員吉野正芳元復興大臣はじめ来賓の方々ご臨席のもと出初め式を行いました。出初め式に先立ち、広野駅前通りを隊員がパレードしたほか、広野子ども園児も寒さに負けず元気に練り歩き、防火を啓発しました。出初め式では遠藤町長から今年度から機能別団員制度を導入し74名の機能別団員が入団し174名の消防団体制となって充実強化されたとの訓示のほか、来賓から祝辞がありました。また、通常点検・機械器具点検、二ツ沼総合公園での放水訓練に取り組みました。

みかんジュース完成を報告



↑遠藤町長にみかんジュース完成報告に訪れた塩史子二ツ沼直売所利用組合長(右)

1月10日(金)、塩史子二ツ沼直売所組合長が遠藤町長に広野産みかんを使用したストレートみかんジュースの完成を報告しました。塩組合長は「昨年は隔年結果 裏年のためみかんの収穫量が少なかったため、ジャム製造はできませんでしたが、みかんジュース瓶1ℓ60本、500ml 200本搾ることができました。完成したみかんジュースは、酸味があるスッキリとした味わいものになりました。」と報告。完成報告を受けた遠藤町長は、「広野町の特産物のひとつとして、認知度を上げていくため引き続き、県内外に広くPRしていく。」と話しました。

令和2年広野町新春交歓会を開催



↑新春交歓会の様子

1月9日(木)、広野町中央体育館で令和2年広野町新春交歓会を開催し、約210人の関係者や町民が集い、新年のあいさつを交わし、復興に向けて決意を新たにしました。会場では、広野産のみかんを使用したオレンジジュースや、広野町振興公社が調理した豚汁が振る舞われたほか、広野町文化協会の茶道部会による呈茶サービス、田んぼアートプロジェクトで収穫した天のつぶの無料配布が行われました。遠藤町長が新年の挨拶を述べ、来賓として出席した吉野正芳衆議院議員、加松正利福島復興局長、由良英雄原子力災害現地対策副本部長、吉田栄光福島県議会議員、橋本徹福島県議会議員、菅野孝相双地方振興局企画商工部主幹兼副部長、北郷幹夫町議会議長がそれぞれ祝辞を述べられました。

東京電力ホールディングス(株) 小早川社長が来庁



↑新年の挨拶に訪れた小早川社長(右から2番目)

1月7日(火)、東京電力ホールディングス(株)小早川社長らが広野町役場を訪れ、遠藤町長、北郷議会議長らに新年の挨拶をしたほか、福島第一原発の着実な廃炉や被災地復興に全力を尽くす姿勢を強調しました。遠藤町長は、「双葉地方は帰還困難区域の避難指示解除など重要な時期を迎える。福島第一原発の安全かつ着実な廃炉を願います。」と要望しました。小早川社長は、「地域の方に安心していただけるよう、安全な作業を進めるとともに迅速な情報公開に努めます。地元の方々に寄り添いながら復興と廃炉作業に貢献できるよう尽くすとともに、広野町の皆さんにご理解いただけるよう私が先頭に立ち、安全で着実な廃炉、賠償、復興に引き続き取り組みます。」と話しました。

清水敏男いわき市長が来庁



↑広野町職員に御礼の言葉を述べる清水市長(中央)

1月9日(木)、いわき市の清水敏男いわき市長が広野町を訪れ、台風19号等の被害により、広野町から支援をいただいたこと(町として可能な限り支援した ペットボトル飲料水5,000本、給水活動、200名の人的支援、町と社会福祉協議会からの義援金)に対し御礼の言葉を述べました。清水市長は、「台風19号等の災害により、広野町の皆さんから多大な支援をいただきありがとうございます。広野町でも町内の河川、道路に被害があったと認識しております。いわき市の早期復旧・復興のため尽力を尽くすとともに、皆さんと共に広野町の復興に寄与していきたい。」と話していただきました。

おせち料理宅配事業を実施



↑高齢者世帯を訪れおせち料理宅配をする遠藤会長

12月30日(月)、広野町民生委員と広野町社会福祉協議会が連携し、例年によりおせち料理宅配事業を実施しました。本事業は、歳末たすけあい募金配分事業の一環として75歳以上となる方の単独世帯または高齢者世帯の希望者73世帯に対して94個のおせち料理を無料で宅配し、年末年始における高齢者の見守りなどを目的に実施されました。